

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590400121		
法人名	株式会社 ふれあいの杜		
事業所名	グループホームふれあいの杜三条		
所在地	新潟県三条市大面493-1		
自己評価作成日	令和4年11月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590400121-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年1月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①四季折々の風情豊かな環境下にあり、歴史ある集落と新興住宅地が混在する地域の中で、散歩や地域行事等を通して交流を図っている。開所から7年目を迎えて、公私ともに馴染みの関係性が構築されている。毎月第2日曜日に開催している認知症カフェでは、様々なプログラムを介して地域の方々や認知症本人、ご家族の集いの場として提供している。開催場所は地域の自治会館やお寺などの協力を得ることができて、より多くの方に出向いて頂いている。

②施設内は明るい色調の木材を組み入れた温かみのある内観となっている。居間兼食堂にはカウンター式のキッチンが備えられ、職員と入居者様が一緒に食事作りに参加できる環境を整えている。各ユニットのフロア内には畳敷きの小上がりが設置しており、入居者様が個々に思い通りに過ごせるように配慮している。居室は全て個室でプライベートな空間に馴染みの生活スタイルを取り入れている。個別支援にも重点を置いており、趣味活動や外出支援にも生かしている。

③入居者様とご家族の関係性を重視した支援を行っている。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で面会を規制せざるを得ない状況下において、オンラインや電話の活用や玄関ホールで接触感染対策シートを用いた対面での面会を実施し、入居者様とご家族の繋がりを大事にしている。ワクチンの早期接種や感染者数が減少傾向にあることを確認の上、感染防止対策に配慮しながら相談室での面会や2時間以内の外出等を緩和することなど、現状に即した対応を心掛けている。職員は入居者様とご家族にとっていつでも相談できる関係性が構築されていると実感している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地元の集いの場であるグループホームを目指した取組
「グループホームふれあいの杜三条」は、閑静な住宅街の一角にあり、歴史ある古い家屋と新興住宅地とが混在している地域で開設7年目を迎えている。開設当初は理解されず協力的でなかった地元の方も、7年が経過して自治会長や郵便局、お寺の地元有志の方達が率先して協力して下さるようになったことや、三条市より委託を受けている認知症カフェ(支援型カフェ)を事業所で開催していることもあり、利用者、利用者家族、そして地域の方も参加されることで、「集いの場」となり、少しずつ認知度を高めていった。事業所に地域の方が入る、逆に地域の集まりには職員と利用者が必ず一緒に参加することで、地域の一員として生活されている。とても大切なことが実践されている。また、管理者を中心とした、職制を問わず職員全員で地域の歴史や習慣、文化に触れ理解を深めていることで、より一層地域の一員として受け入れられており、お互い協力し合い助け合う体制ができ上がってきている。歴史ある地域との関係づくりに、チーム一丸で取り組み、成果となって形ある事業所運営が展開されている。

○職員一人ひとりが目指すチームのために

職場環境は、一歩入った雰囲気や職員一人ひとりからも窺えるとおおり、管理者と職員、職員同士の関係性がよくお互いに話合える時間、場、関係が出来ている。そのことから、職員一人ひとりの自信と楽しみにも繋がりが直接的に利用者への支援に活かされている。利用者の生活スタイルを重視した「やりたいことの実現」に向けて、利用者一人ひとりにチームとして関わったり、関心をもつことで新たな気づきや困りごとを把握し声に出し、チームとして利用者への支援に繋げている。今後も地域で求められている事業所、そして地域の一員として、「自助」・「互助」・「公助」の連携による取り組みが期待される。